

第10回ミニ講演会 報告

日 時：2017年9月2日(土)10時～11時30分

場 所：杉田地区センター

参加者：講演会33名(1954～1983卒)、懇親会(ランチ)33名

講 師：武田 陽次氏(1972・経済学部卒)

テーマ：「山と海、そして南極」

内 容：

司会は大学のクラブ(洋弓部)で講師の1年後輩の田中敏恵さん(1973・文)。神奈川支部に入会したのも講師の勧めであると、後輩ならではの講師紹介がありました。他にも洋弓部 OBOG が駆けつけ、講師を含めて5名の参加でした。

高木支部長の挨拶に次いで講師登壇。第一声が「先日、4回目の挑戦でユングフラウ登頂を無事果たしました！」で、出席者全員から祝福の拍手が起こりました。

講演内容は南極の話が全体の7割、残り3割が山(ユングフラウ)と海(スキューバ・ダイビング)と言う構成で、写真や地図が数多く画面に映し出されました。

(1) 南極

ツアーの話(日程とアプローチ・ルート、フランス船籍で料理が美味かったこと、ボートでの上陸の様子、氷山巡り、アザラシとペンギンの観察、等々)から始まり、動植物学・地理学・地政学上の話(南極圏と南極大陸の定義、大陸の成り立ちや構造、等々)に至るまで幅広い内容でした。

特に地理学上のところは現役リタイア後に某大学文学部地理学科を修了した講師ならではの話が随所に織り込まれていました。



(2) 山(ユングフラウ登頂)

講演直前(8/18日本国発～8/22登頂成功～8/27帰国)の文字通りホットな内容で、詳細のレポートが配られました。4年連続での挑戦、これに備え日頃から丹沢山系でトレーニングを重ねた話や出国直前には高所順応で富士山を日帰り登頂した話等、講師の体力とそして何より根気と執念を感じられた内容でした。



(3) 海(スキューバ・ダイビング)

タイ国駐在時、57歳で初めて、タイの有名スポットからモルジブ、パラオ、オーストリア(ケアンズ周辺)、日本(石垣島、八丈島、西伊豆)に至るまで、これまでに369本を記録。「ダイビングは体力を使わないのが上級者(∵酸素消費量が少ない)」

「飛行機での潜水スポット行の帰りは超低空飛行(∵気圧順応)」

等々、豊富な体験者ならではの意外な話しに出席の皆さん頷いていました。

懇親会(ランチ):12:00~14:00 パレドバルブ(徒歩5分)

司会は田中康弘さん(1979・経)。松本邦泰さん(1978・商)と昨年11月に「ゆる登山の会」を立ち上げました。講師はこの会の顧問です。同じく「ゆる登山の会」つながりで松本喜代郎さん(1959・経)が乾杯の発声。恒例となった出席者全員の近況報告は33名の大人数だったので、食事が出ないうちから始めました。ランチ会場は貸し切りで、佐藤事務局長の高らかなエールで「空の翼」を斉唱して閉会となりました。

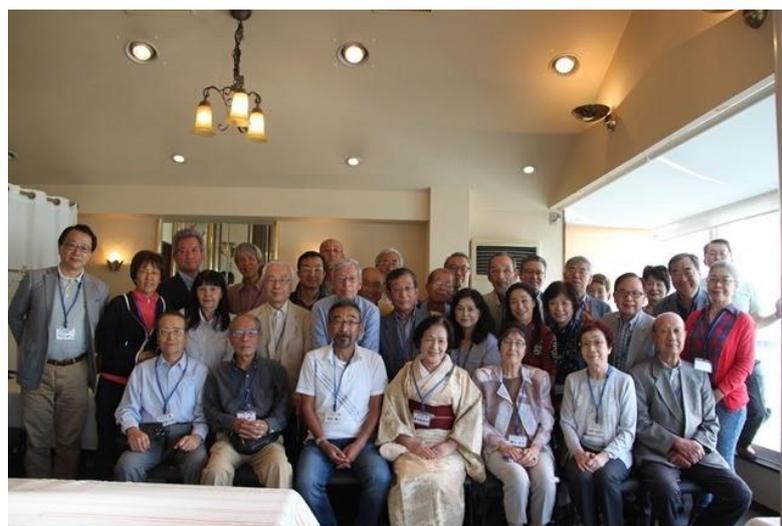
【事務局・記】



講師



講演会場



懇親会



松本喜代郎さん(乾杯発声)